

(トップページ:<http://mylibrary.maeda1.jp/>)

(五大石油会社の業績比較:<http://mylibrary.maeda1.jp/SuperMajors.html>)

(石油:<http://mylibrary.maeda1.jp/oil.html>)

マイライブラリー:0526

(注)本稿は2021年2月14日から3月9日まで14回にわたり「内外の石油情報を読み解く」に掲載したレポートをまとめたものです。

2021.3.11
前田 高行

5社中3社が200億ドル強の巨額損失を計上:五大国際石油企業2020年度業績速報シリーズ

目次	頁
I. 5社の2020年第4四半期(10-12月)及び通年(1-12月)業績概要	
1. ExxonMobil	3
2. Shell	4
3. BP	5
4. Total	6
5. Chevron	6
II. 2020年の業績比較	
1. 売上高	7
2. 利益	8
3. 上流部門/下流部門利益	8
4. 売上高利益率	8
5. 設備投資額	9
6. キャッシュフロー	
(1)営業キャッシュフロー	9
(2)投資キャッシュフロー	10
(3)財務キャッシュフロー	10
(4)年末キャッシュフロー残高	10
7. 石油及び天然ガス生産量	
(1)石油生産量	10
(2)天然ガス生産量	10
(3)石油・天然ガス合計生産量(石油換算)	10
III. 2019年と2020年の5社業績比較	
1. 売上高	11

2. 損益	
(1)総合損益	11
(2)上流部門と下流部門の損益比較	12
3. 設備投資	13
4. キャッシュフロー	
(1)営業キャッシュフロー	13
(2)投資キャッシュフロー	13
(3)財務キャッシュフロー	14
(4)年末キャッシュフロー残高	14
III. 8カ年(2013-2020年)業績推移の比較	
1. 売上高	15
2. 利益	15
3. 売上高利益率	16
4. 設備投資	17
5. 石油及び天然ガス生産量	
(1)石油生産量	17
(2)天然ガス生産量	18
(3)石油・天然ガス合計生産量(石油換算)	19

国際石油企業(International Oil Companies, IOCs)の2020年第4四半期(10-12月)及び年間(1-12月)の決算が発表された。本稿ではExxonMobil(米)、Shell(英蘭)、BP(英)、Total(仏)及びChevron(米)の5社を取り上げ、各社の売上高、利益、設備投資額、キャッシュフロー及び石油・ガス生産量を概観し、さらに5社の業績比較を行う。

I. 5社の2020年第4四半期(10-12月)及び通年(1-12月)業績概要

(末尾表 1-D-4-20A, B & C 参照)

(近年まれに見る大幅な赤字220億ドル！)

1. ExxonMobil

* 同社ホームページ:

https://corporate.exxonmobil.com/News/Newsroom/News-releases/2021/0202_ExxonMobil-reports-results-for-fourth-quarter-2020-and-provides-perspective-on-forward-plans

(1)売上高

ExxonMobilの2020年1-12月の売上高は465億ドルであり、また通年売上高は1,815億ドルであった。前年同期比ではそれぞれ▲31%及び▲32%の大幅な減収である。減収の要因は新型コロナウイルス(COVID-19)禍により世界経済が大きく減速、原油及び天然ガスの需要と価格が同時に大幅に下落したためである。因みに原油価格について検証すると、代表的な指標油種である北海 Brent 原油の2019年の平均価格は64.21ドル/バレルであり、これに対して2020年のそれは41.83ドルであり40%下落している¹。後述する通りExxonMobilの2020年原油・天然ガスの生産量は前年に比べ原油が1.6%減、天然ガスが9.8%減少、合計生産量で4.8%の減少であり、このことから減収の主たる要因は価格の下落にあったことが解る。

(2)利益

10-12月期及び通年の損益はそれぞれ▲201億ドル及び▲224億ドルであり、10-12月期に年間に匹敵する損失を計上している。前年及び前年10-12月期がいずれも利益を計上していることと比べ今年度決算は最悪であったと言えよう。

通年利益のうち上流部門の利益は2019年の144億ドルに対して2020年は▲200億ドルであり、差引344億ドルのマイナスとなっている。一方、下流部門も2019年の23億ドルの利益に対し2020年は11億ドルの損失であり、上流部門ほど大きくはないが同様の傾向を示している。(注、最終損益額には石油化学部門その他の損益が合算されているため、全体の損益額と上流・下流部門の損益合計額とは一致しない。)

(3)売上高利益率

通年ベースの売上高利益率は▲12.4%であり、前年の5.4%からマイナスに転落している。

(4)設備・探鉱投資

2020年の年間の設備・探鉱投資額は214億ドルであり、2019年の311億ドルに比べ31%減少している。

(5) キャッシュフロー

ExxonMobilの2020年の営業キャッシュフローは147億ドルであり、2019年の297億ドルにくらべて半減している。

なおExxonMobilの決算資料では営業キャッシュフローのみが示されており、投資及び財務キャッシュフロー並びに年末残高は示されていない。

(6) 石油・ガス生産量

昨年のExxonMobilの石油生産量は日量平均2,349千バレル(以下B/D)であり、前年(2019年)の2,386千B/Dに比べ2%減少している。天然ガスは日量平均8,471百万立法フィート(以下mmcf)であり前年比9.8%減少であり、石油を上回る減産となっている。

(赤字はExxonMobilに次ぐ217億ドル！)

2. Shell

* 同社ホームページ:

<https://www.shell.com/investors/results-and-reporting/quarterly-results/2020/q4-2020.html>

(1) 売上高

Shellの2020年10-12月の売上高は450億ドル、通年売上高は1,832億ドルであった。前年同期比ではそれぞれ47%及び48%の減収である。

(2) 利益

10-12月期及び通年の損益はそれぞれ▲40億ドル及び▲217億ドルであり、前年は10-12月期が10億ドル、通年では158億ドルの黒字決算であり、今期は一転して大幅な欠損となった。上流部門の10-12月期は前年度▲9億ドルの赤字幅が今期は▲21億ドルに拡大しており、下流部門は12億ドルの黒字から▲18億ドルの赤字に転落、上下流両部門ともにマイナスであった。(注、最終損益額には石油化学部門その他の損益が合算されているため、部門別の上流・下流部門の損益合計額とは一致しない。)

(3) 売上高利益率

通年ベースの売上高利益率は▲12%であり前年の4.5%から大幅に悪化している。

(4) 設備・探鉱投資

2020年の年間の設備・探鉱投資額は166億ドルであり前年の230億ドルより28%下回っている。

(5) キャッシュフロー

Shellの2020年の年間営業キャッシュフローは341億ドルであった。これに対して投資キャッシュフロー及び財務キャッシュフローはそれぞれ▲133億ドル、▲72億ドルであった。この結果同社の

2020年12月末のキャッシュフロー残高は318億ドルとなっている。

(6)石油・ガス生産量

昨年のShellの石油生産量は日量平均1,803千B/Dであり、前年(2019年)より4%減少している。天然ガスは日量平均9,181mmcf/dであり前年までの1千万cf/dを切っている。石油と天然ガスの合計生産量は石油換算で3,386千B/Dとなり、前年比8%減となっている。

(ExxonMobil、Shellに次いで赤字200億ドル超える！)

3. BP

* 同社ホームページ:

<https://www.bp.com/en/global/corporate/news-and-insights/press-releases/fourth-quarter-2020-results.html>

(1)売上高

BPの2020年10-12月の売上高は448億ドルであり、また通年売上高は1,804億ドルであった。前年同期比では10-12月期は37%、通年ベースでは35%の減収である。

(2)利益

10-12月期の利益は14億ドルで前年同期の2千万ドルに比べ急増しているが、通年ベースで見ると前期の40億ドルの黒字に対し今期は▲203億ドルの巨額の損失を計上している。赤字幅はExxonMobilの▲224億ドル、Shellの▲217億ドルに次いで三番目に多い。部門別利益では上流部門は通年で▲50億ドルのマイナスであり前年の111億ドルの黒字から一転して大幅に悪化している。下流部門は31億ドルの利益であったが、前年の64億ドルから半減している。(注、最終損益額には石油化学部門その他の損益が合算されているため、部門別の上流・下流部門の損益合計額とは一致しない。)

(3)売上高利益率

通年ベースの売上高利益率は前年の1.4%から2020年は▲11%に悪化している。

(4)設備・探鉱投資

2020年の設備・探鉱投資額は123億ドルであり、2019年に比べ20%減少している。

(5)キャッシュフロー

BPの2020年の年間営業キャッシュフローは122億ドルであった。これに対して投資キャッシュフロー及び財務キャッシュフローはそれぞれ▲79億ドル、40億ドルであった。この結果同社の年末のキャッシュフロー残高は2019年末の225億ドルから2020年末は311億ドルに増加している。

(6)石油・ガス生産量

昨年のBPの石油生産量は日量平均1,229千B/Dであり、前年(2019年)に比べ5%減少している。

天然ガスも日量平均 6,643mmcfで前年より 15%減少している。

石油と天然ガスの合計生産量は石油換算で 2,375 千 B/D となり、2019 年比では 10%減である。

4. Total

* 同社ホームページ:

<https://www.total.com/media/news/press-releases/Results-2020-and-TotalEnergies>

(1)売上高

Total の 2020 年 10-12 月の売上高は 379 億ドルであり、また通年売上高は 1,407 億ドルであった。前年同期比では 10-12 月期は▲23%、通年ベースでは▲30%の減収である。

(2)利益

10-12 月期は 9 億ドルの利益、通年では▲72 億ドルの損失であった。通年損益のうち上流部門の利益は 24 億ドルで前年に比し▲69%減、下流部門は 10 億ドルの利益で前年を▲65%下回った。(注、最終損益額には石油化学部門その他の損益が合算されているため、部門別の上流・下流部門の損益合計額とは一致しない。)

(3)売上高利益率

通年ベースの売上高損失率は▲5%であり、前年の 6%から大幅に落ち込んだ。

(4)設備・探鉱投資

2020 年の年間の設備・探鉱投資額は 130 億ドルであり、これは 2019 年を 26%下回っている。

(5)キャッシュフロー

Total の 2020 年の年間営業キャッシュフローは 148 億ドルであった。これに対して投資キャッシュフロー及び財務キャッシュフローはそれぞれ▲131 億ドル、14 億ドルであった。この結果同社の 2020 年末のキャッシュフロー残高は 313 億ドルとなっている。

(6)石油・ガス生産量

昨年の Total の石油生産量は日量平均 1,543 千 B/D であり、前年(2019 年)比▲8%減であった。天然ガスも前年比 2%減の日量平均 7,246mmcfである。

石油と天然ガスの合計生産量は石油換算で 2,871 千 B/D となり、2019 年比▲5%減である。

5. Chevron

* 同社ホームページ:

<https://www.chevron.com/stories/chevron-announces-fourth-quarter-2020-results>

(1)売上高

Chevron の 2020 年 10-12 月の売上高は 248 億ドルであり、また通年売上高は 945 億ドルであっ

た。前年同期比ではそれぞれ▲28%及び▲33%の減収である。

(2)利益

10-12 月期は▲7 億ドルの赤字、通年も▲55 億ドルの損失であった。上流部門は前期 26 億ドルの利益に対し今期は▲24 億ドルの損失を計上した。下流部門はわずかながらも(5 千万ドル)利益を確保している。(注、最終損益額には石油化学部門その他の損益が合算されているため、部門別の上流・下流部門の損益合計額とは一致しない。)

(3)売上高利益率

通年ベースの売上高利益率は、▲6%であった。

(4)設備・探鉱投資

2020 年の年間の設備・探鉱投資額は 135 億ドルであり、これは 2019 年比で▲36%減である。

(5)キャッシュフロー

Chevron の 2020 年の年間営業キャッシュフローは 106 億ドルであった。これに対して投資キャッシュフロー及び財務キャッシュフローはそれぞれ▲70 億ドル、37 億ドルであった。(なお年末のキャッシュフロー残高は開示されていない。)

(6)石油・ガス生産量

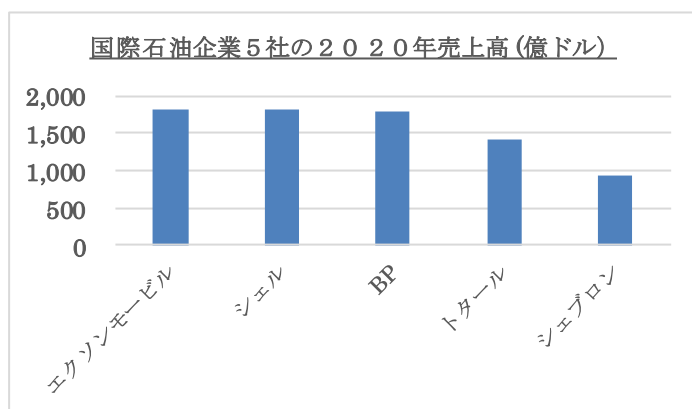
昨年の Chevron の石油生産量は日量平均 1,868 千 B/D であり、前年横ばいであった。天然ガスは日量平均 7,290mmcf/d で前年比微増である。

石油と天然ガスの合計生産量は石油換算で 3,083 千 B/D となり、2019 年比では 1%増である。

II. 2020年の業績比較

(売上1, 800億ドル台で拮抗する ExxonMobil、Shell、BP の 3 社！)

1.売上高



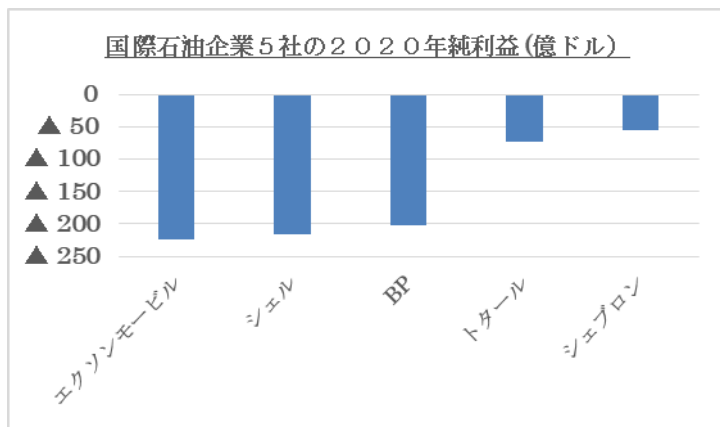
ここでは ExxonMobil, Shell, BP, Total 及び Chevron5社の2020年の売上高を比較する。5社の中で売上高が最も大きいのは Shell の 1, 832億ドルであり、これに続くのが ExxonMobil 1, 815億ドル、BP 1, 804億ドルであり、3社の差はほとんどない。なお後述する8カ年(2013-2020年)業績推移にも触れるが、過去8年間では2015年を除き Shell が売上高トップである。

Total、Chevron の売上高はそれぞれ 1, 407億ドル及び 945億ドルで、Total はトップの Shell の売

上高の8割弱、Chevron は半分強である。

(5社すべてがマイナス、ExxonMobil 他2社は200億ドル強の巨額損失！)

2. 損益

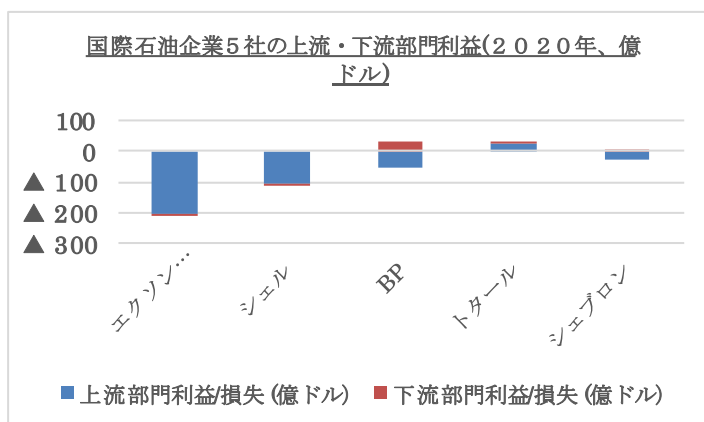


2020年は新型コロナウイルス禍により石油の価格・販売量ともに極端な不振であった。このため5社はいずれも巨額の損失を余儀なくされ、特に ExxonMobil、Shell 及び BP の売上高上位3社の損失額はそれぞれ▲224億ドル、▲217億ドル、▲203億ドルと日本円換算で2兆円以上に上っている。また Total、Chevron の下位2社

も Total ▲72億ドル、Chevron ▲55億ドルの損失を計上している。

3. 上流部門/下流部門損益

(注)上記2の全体損益には上流部門及び下流部門(石油精製販売部門)の他化学部門の利益または損失が含まれている場合があります本項の合計額とは必ずしも一致しない。



上流部門の損益は5社のうち Total のみは利益を計上したが、その他の4社はマイナスである。ExxonMobil の損失は▲200億ドルに達し、損失全体(▲224億ドル、上記参照)のほとんどを占めている。Shell の上流部門の損失も100億ドル以上である(▲108億ドル)。BP 及び Chevron はそれぞれ▲50億ドル及び▲24億ドルのマイナスであり、Total のみが24億ド

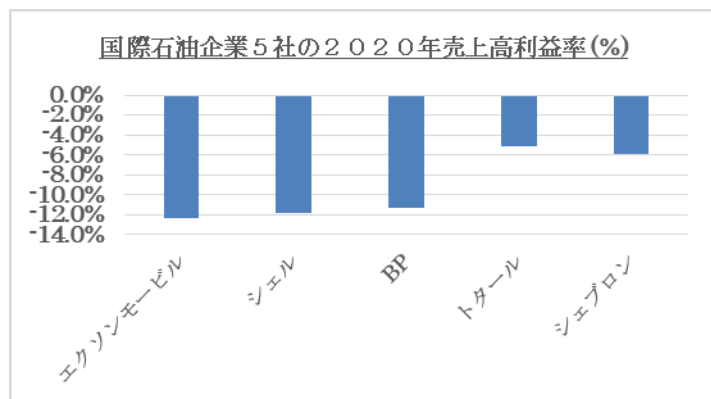
ルの利益を計上している。

下流部門は上流部門のような大きな損益格差は無い。5社の中では ExxonMobil 及び Shell がマイナスであり、Chevron はほぼ損益が均衡、BP 及び Total の下流部門はプラスであった。ExxonMobil のマイナス額は▲11億ドルであり、Shell は▲5億ドル、BP の上流部門の利益は31億ドルであり5社の中では利益が最も多い。

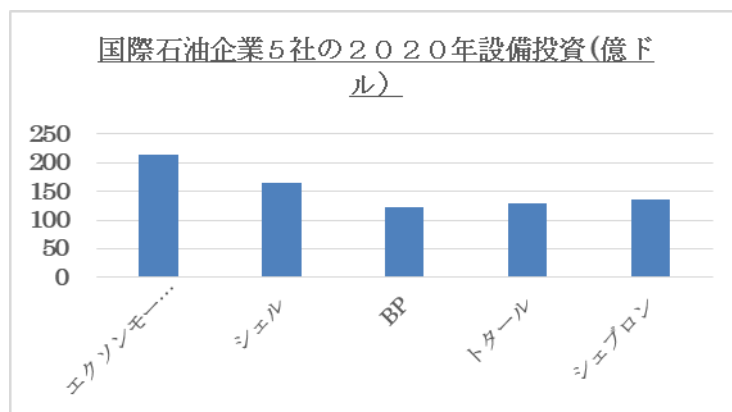
4. 売上高利益(損失)率

2020年は全社が損失を計上している。売上高と損失の比率である売上高損失率を見ると、ExxonMobilが▲12.4%で最も悪く、次いでShell及びBPが▲11%台で並んでいる。残るChevron

及び Total の売上高損失率は共に▲5%台である。



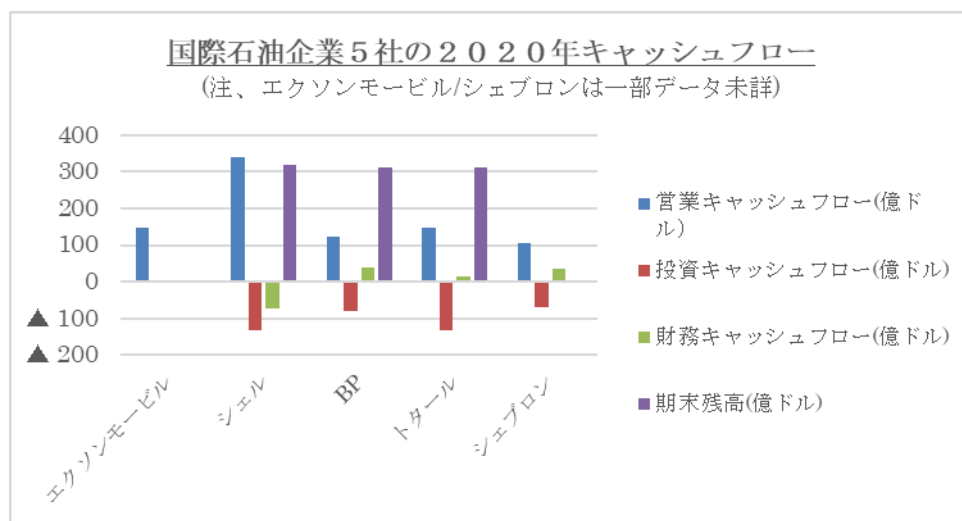
5. 設備投資額



2020年の5社の設備投資額は ExxonMobil が214億ドルと最も多く続いて Shell が166億ドル、シェブロン135億ドル、Total130億ドルである。BP は5社の中で最も少ない120億ドルであった。ExxonMobilを100とした場合 Shell は8割弱でありその他3社は ExxonMobil の6割前後である。

6. キャッシュフロー

(注)各社の決算を比較すると、ExxonMobil は営業キャッシュフローのみが明記されており、投資キャッシュフロー、財務キャッシュフロー及び期末残高は不明である。また Chevron は期末残高が明示されていない。



(とびぬけて大きい Shell の営業キャッシュフロー！)

(1) 営業キャッシュフロー

2020年1-12月の Shell の営業キャッシュフローは341億ドルである。その他の4社のキャッシ

ュフローはいずれも100億ドル台で、Total が148億ドル、ExxonMobil 147億ドル、BP122億ドル、Chevron 106億ドルであった。

(2) 投資キャッシュフロー

ExxonMobil を除く4社の投資キャッシュフローは Shell 及び Total がそれぞれ▲133億ドル、▲131億ドルであり、BP は▲79億ドル、Chevron は▲70億ドルである。

(運転資金不足を見越して借入に走った各社！)

(3) 財務キャッシュフロー

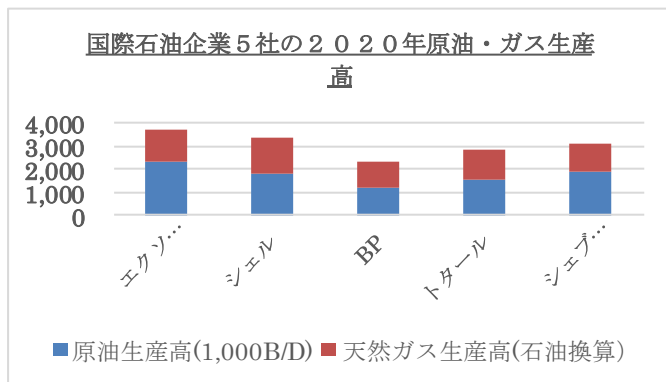
財務キャッシュフローは BP、Chevron、Total3社がそれぞれ40億ドル、37億ドル及び14億ドルのプラス勘定であったのに対し、Shell は▲72億ドルのマイナス勘定となっている。今期はコロナ禍の操業率低下による運転資金不足に対処するため、各社はそれぞれの判断で4-6月期に大幅な借り入れを行っている。これが年間財務キャッシュフローの差を生み出している。

(4) 年末キャッシュフロー残高

キャッシュフロー年末残高は Shell、BP 及び Total3社が明らかにしているが、3社とも残高は310億ドル台でほとんど差がない。

(石油と天然ガスの比率は ExxonMobil が6:4、BP は5:5！)

6. 石油及び天然ガス生産量



(1) 石油生産量

昨年の石油生産量が最も多かったのは ExxonMobil の2,349千 B/D であり、5社の中でただ一社2百万 B/D を超えている。ExxonMobil に次いで生産量が多いのは Chevron(1,868千 B/D)、第3位は Shell(1,803千 B/D)で、両社の生産量は ExxonMobil の8割である。Total は1,543千 B/D。BP は5社の中で最も少ない1,229千 B/D で ExxonMobil のほぼ半分にとどまっている。

(2) 天然ガス生産量

天然ガスの生産量が最も多いのは Shell の日産92億立方フィートで石油に換算すると1,583千 B/D であった。2位は ExxonMobil の(石油換算1,412千 B/D)。3位以下は Total(同1,328千 B/D)、Chevron(1,215千 B/D)、BP(1,146千 B/D)と続いている。

(3) 石油・天然ガス合計生産量

石油と天然ガスの合計生産量が最も多いのは ExxonMobil であり石油換算で3,761千 B/D である。2位は Shell の3,386千 B/D、3位 Chevron(3,083千 B/D)でこれら3社が合計生産量3百万

B/Dを超えている。Totalは2,871千B/D、BPは最も少ない2,375千B/Dであった。ExxonMobilの生産量を100とした場合、他の4社はShell90、Chevron82、Total76、BPは63となっている。

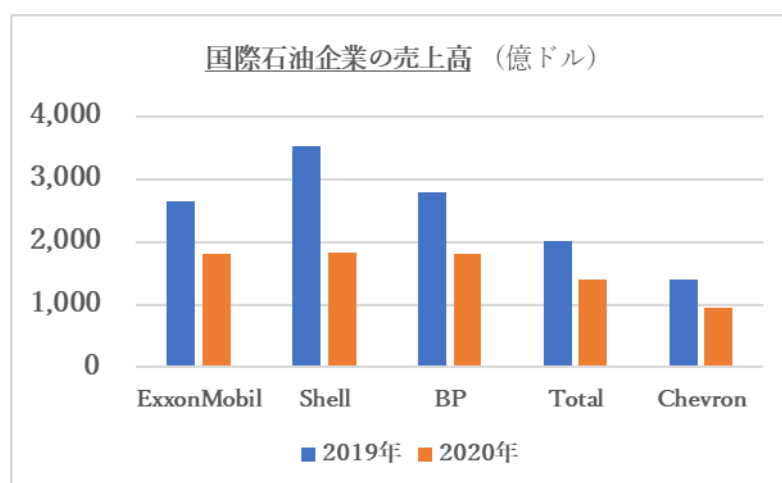
各社の石油と天然ガスの比率を見ると、ExxonMobilは石油62%、天然ガス38%であり5社の中では石油の比率が最も高い。その他4社の石油：天然ガスの比率はそれぞれ、Chevron(石油61%：天然ガス39%)、Total(石油54%：天然ガス46%)、Shell(石油53%：天然ガス47%)、BP(石油52%：天然ガス48%)である。5社いずれも石油の比率が天然ガスを上回っている。

III. 2019年と2020年の5社業績比較

2019年と2020年の年間平均原油価格はBrent原油でそれぞれ1バレル当たり64.21ドル及び41.83ドルであり大幅に下落している²。この結果各社の売上高もこれに比例して減少しており、損益については全社がプラスからマイナスに転落している。特にExxonMobil、Shell及びBP3社はいずれも200億ドルを上回る大幅な損失を計上している。

(Shellの売上高は半減！)

1. 売上高



2019年及び2020年ともに売上高はShellがトップであった。しかし2019年には5社の中でただ1社3,000億ドルを超え、2位(BP)を740億ドル近く引き離していたが、2020年の売上高は前年比半減の1,800億ドル強にとどまり、2位(ExxonMobil)、3位(BP)との差額も20~30億ドル程度となった。これら3社に続く4位はTotal、5位

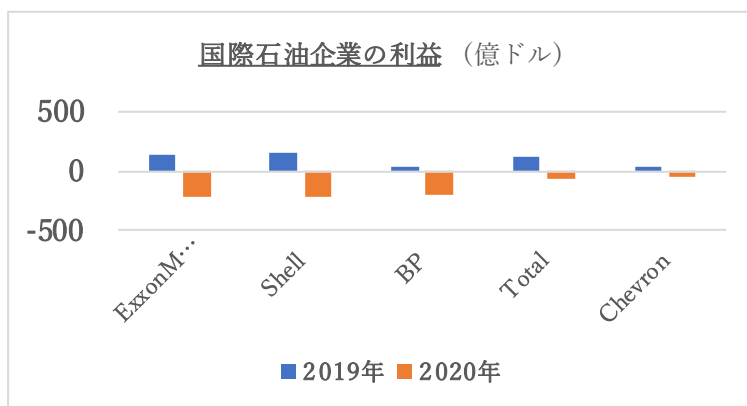
Chevronである。減収率はShellが▲48%と最も高く、BPは▲35%であり、その他の3社も▲30%前後であった。

両年の各社売上高はShell 3,521億ドル(2019年)→1,832億ドル(2020年)、ExxonMobil 2,649億ドル(2019年)→1,815億ドル(2020年)、BP 2,784億ドル(2019年)→1,804億ドル(2020年)、Total 2,003億ドル(2019年)→1,407億ドル(2020年)、Chevron 1,399億ドル(2019年)→945億ドル(2020年)であった。

(前年のプラスから一転して全社大幅なマイナスに！)

2. 損益

(1) 総合損益

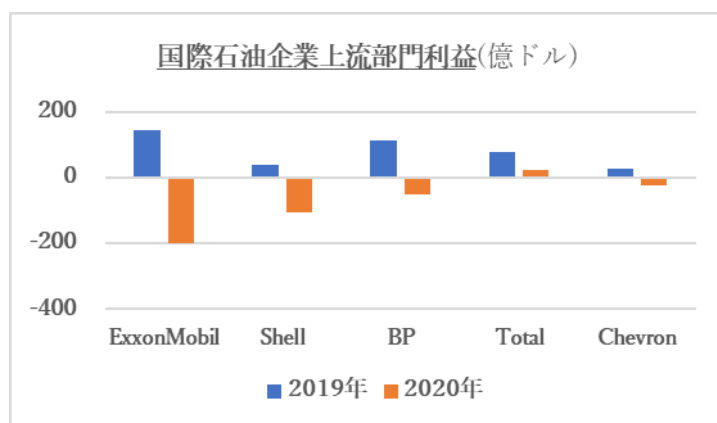


2019年は各社とも利益を計上していたが、2020年には一転して全社がマイナス決算となり、特に ExxonMobil、Shell、BP3社はいずれも200億ドルを上回る巨額の損失であった。また Total 及び Chevron も50~70億ドルの赤字であった。

各社の2019年と2020年の損益を比較すると以下のとおりである。

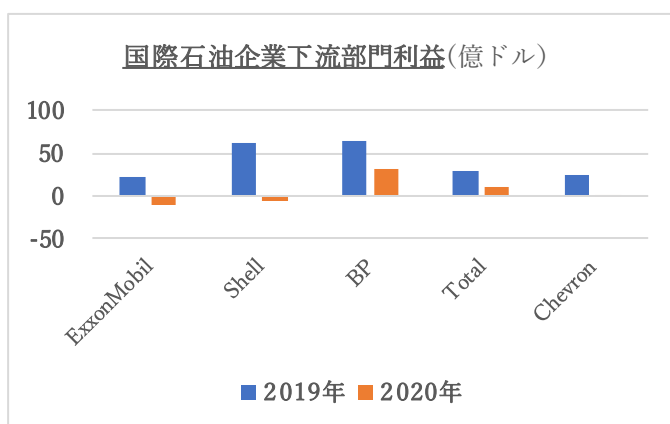
ExxonMobil(143億ドル→▲224億ドル)、Shell(158億ドル→▲217億ドル)、BP(40億ドル→▲203億ドル)、Total(113億ドル→▲72億ドル)、Chevron(29億ドル→▲55億ドル)

(2) 上流部門と下流部門の損益比較



各社の利益を上流部門(生産)と下流部門(精製)に分けてみると上流部門について2019年は全社利益を計上していたが、今期は Total を除く4社の上流部門はマイナスに転落している。下流部門も昨年は全社が利益を出していたが、今年も ExxonMobil と Shell がマイナスに転落している。

上流部門では、2019年は ExxonMobil が利益144億ドルで最も多く、ついで BP112億ドル、Total75億ドルであり、Shell 及び BP の利益はそれぞれ39億ドル、26億ドルであった。これに対して2020年は ExxonMobil が▲200億ドルの赤字となり、Shell も▲100億ドルを超える欠損を出し、BP 及び Chevron もそれぞれ▲50億ドル、▲24億ドルのマイナスとなった。5社の中で唯一利益を計上したのは Total(24億ドル)であった。



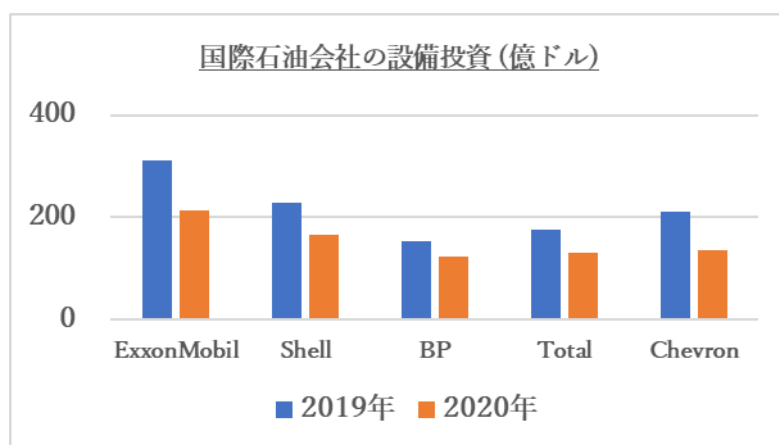
次いで下流部門を見ると、2019年に比較すると各社とも利益が大幅に減少しており、中でも ExxonMobil 及び Shell2社はマイナスに転落している。各社の2019年と2020年の損益を比較すると以下のとおりである。

ExxonMobil(23億ドル→▲11億ドル)、Shell(61億ドル→▲5億ドル)、BP(64億ドル→31億ドル)、Total(30

億ドル→10億ドル)、Chevron(25億ドル→0.5億ドル)

(業績悪化で設備投資は抑制！)

3. 設備投資



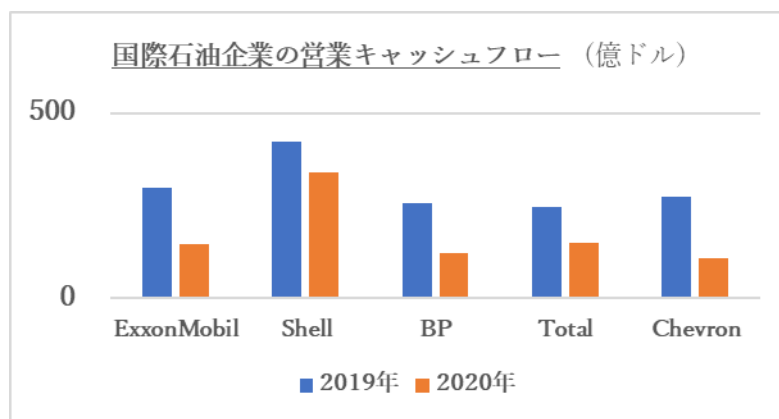
2020年の5社の設備投資は業績悪化の影響を受けていずれも前年を下回っている。設備投資額が最も多いのは ExxonMobil であるが、同社の2020年の設備投資は214億ドルであり、2019年の311億ドルを3割以上下回っている。また ExxonMobil について設備投資額が大きい Shell は前年比28%減の166億ドルで

ある。Chevron は減少率が前年比36%と最も高く210億ドル→135億ドルであった。Total は26%減(174億ドル→130億ドル)。設備投資が最も少ないのは BP であるが、同社も前年比2割減の123億ドルであった。

4. キャッシュフロー

(営業キャッシュフローが半減した Chevron、BP 及び ExxonMobil！)

(1) 営業キャッシュフロー



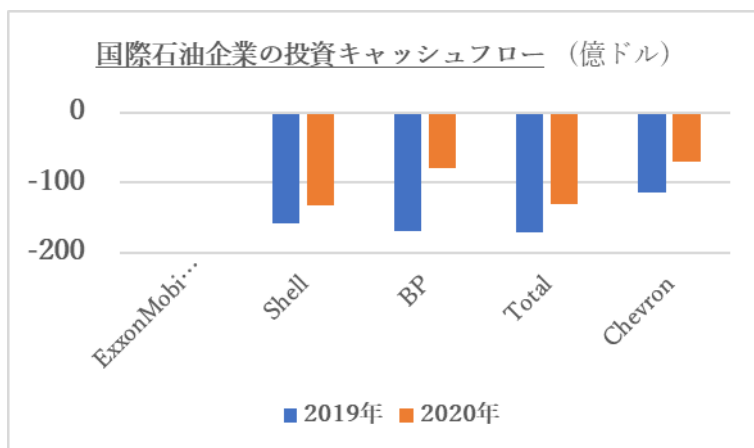
2020年は前年に比べ営業キャッシュフローが大幅に減少している。特に Chevron、BP 及び ExxonMobil はそれぞれ273億ドル(‘19年)→106億ドル(‘20年)、BP258億ドル(‘19年)→122億ドル(‘20年)、ExxonMobil297億ドル(‘19年)→147億ドル(‘20年)に半減している。Total も247

億ドル(‘19年)→148億ドル(‘20年)と4割減であり、Shell は2割減にとどまっている。この結果 Shell の2020年営業キャッシュフローは他社の2~3倍に達している。

(Shell と Total が高い水準を維持！)

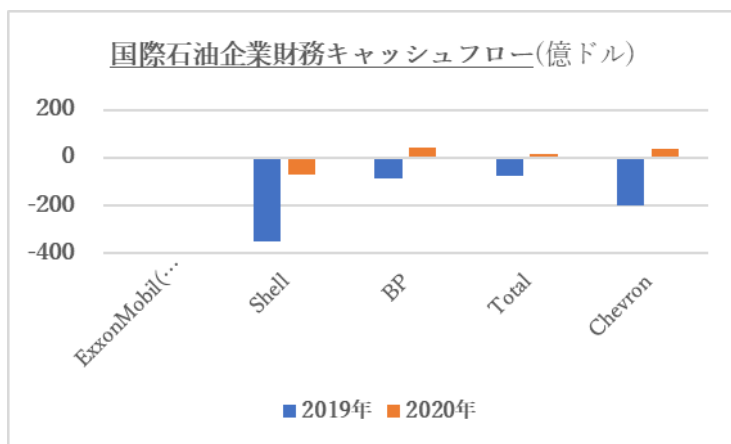
(2) 投資キャッシュフロー

投資キャッシュフローも営業キャッシュフローと同様、各社とも(注、ExxonMobil はデータなし)2019年比で大きく減っている。2019年に160~170億ドルで並んでいた Total、BP 及び Shell のうち BP は半減し、Shell 及び Total は2割前後の減少にとどめている。Chevron はこれら3社に比べ2019年、20年ともすくない。



(2020年はプラス勘定の BP、Chevron 及び Total !)

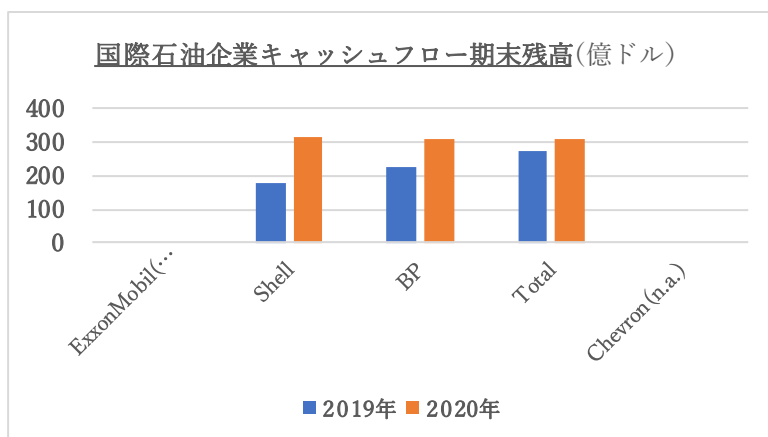
(3)財務キャッシュフロー



財務キャッシュフローは2019年と2020年で大きな違いが見られる。即ち2020年は各社とも大規模な借入を行った結果、財務面で一時的にマイナスからプラスに転じたことである。これはコロナ禍による売上げの減少、操業率の低下等に対応するため一時的に多額の運転資金を調達したためである。

各社の財務キャッシュフローの変化は、Shell(▲352億ドル→▲72億ドル)、BP(▲88億ドル→40億ドル)、Total(▲77億ドル→14億ドル)、Chevron(▲198億ドル→37億ドル)であり、BP、Total、Chevron はプラス勘定に転じている。(注、ExxonMobil はデータなし)

(4)キャッシュフロー期末残高

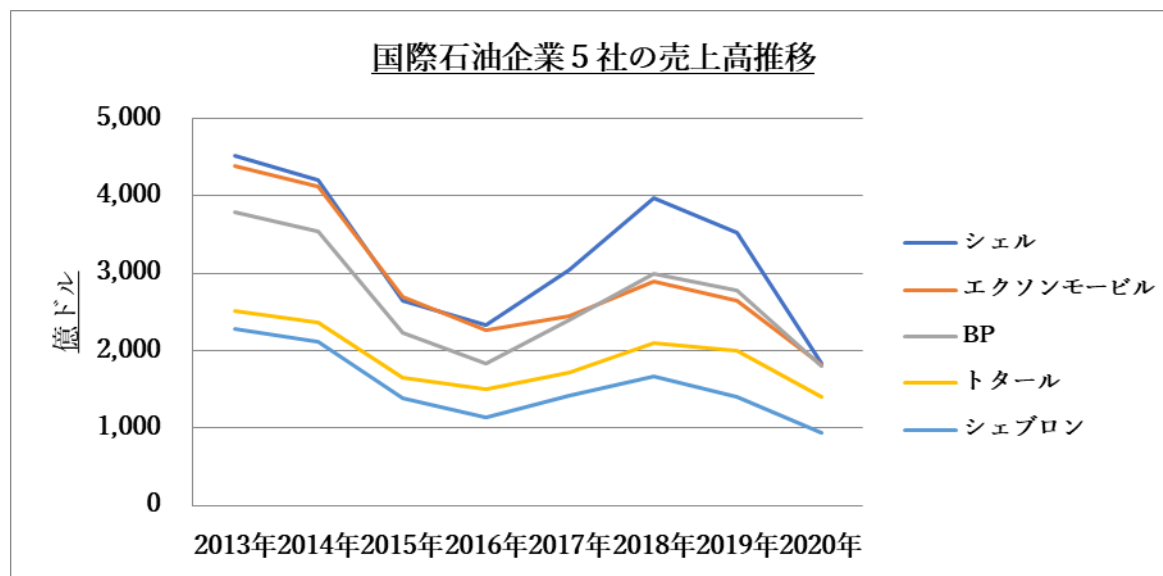


上記のキャッシュフローを差引した残高を見ると、Shell、BP、Total の2020年末残高はいずれも2019年末を上回っている(注、ExxonMobil 及び Chevron はデータなし)。これら3社の2020年末残高は310億ドル台で並んでおり、各社とも手元資金に余裕を持たせている。

IV. 8力年(2013-2020年) 業績推移の比較

ここでは2013年から2020年までの過去8年間の5社の業績の推移を比較検討する。因みに各社業績と密接に関係している原油価格の動きを見ると、Brent 原油は2013年、14年の2年間は年間平均価格が100ドル前後であった。しかしその後2015年は一転して50ドル台に下落、2016年初めには30ドルを割るまでに落ち込んでいる。その後回復し2018年の年間平均価格は70ドルに上昇したものの、2019年は再び63ドルに下落、2020年はついに42ドルに落ち込んでいる。5社の決算数値は原油価格の変動に大きく左右されていることがわかる。

1. 売上高



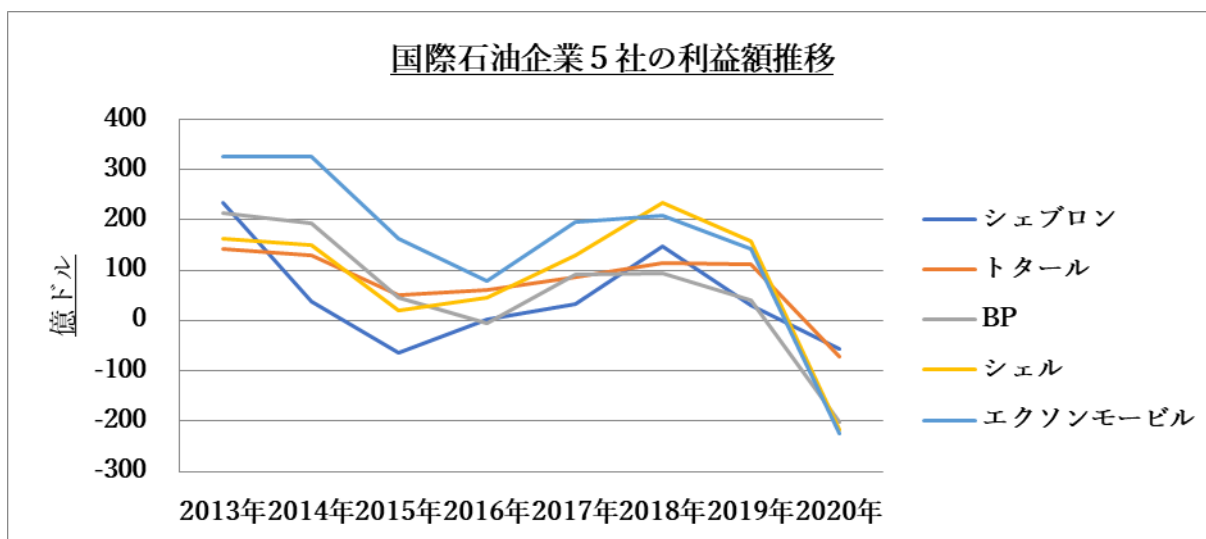
2013年の売上高トップは Shell の4, 512億ドルでありExxonMobilが4, 383億ドルで第2位であった。売上高第3位は BP(3, 791億ドル)で、Total と Chevron はそれぞれ2, 517億ドル及び2, 288億ドルであった。2014年も 5 社の順位は変わらず、Shell の売上高は4, 211億ドルであった。続く2015年、16年は原油価格が急落し(上記参照)、各社とも2016年の売上高は2013年の半分近くに下落した。

2017年、18年は一転して原油価格の上昇により売上高は再び上昇した。2018年の売上高は Shell が3, 966億ドルで2, 3位の BP 及び Shell を大きく引き離しほぼ2014年の水準を取り戻している。一方、ExxonMobil は売り上げが停滞し、2018年は2, 902億ドルで BP にも追い抜かれ、2013年の6割にとどまっている。

2020年は各社とも売上高が急落、特に Shell は前年比で半減し、過去8年間では最も少ない1, 832億ドルであり、2013年の4割強にとどまっている。BP と ExxonMobil は前年比3分の2にとどまり、上位3社が揃って1, 800億ドル強で並んでいる。

(過去8年間のうち全社赤字は2020年が初めて！)

2. 利益



2013年から2020年までの5社の利益の推移を見ると、2013年は ExxonMobil の326億ドルをはじめ、Chevron、BP が200億ドル台、Shell、Total が100億ドル台の黒字を計上したが、各社ともこの時が最も高い利益水準であり、その後は大きな波動を描きながら業績は下降傾向をたどり、特に2020年には大きく落ち込んで全社赤字になっている。

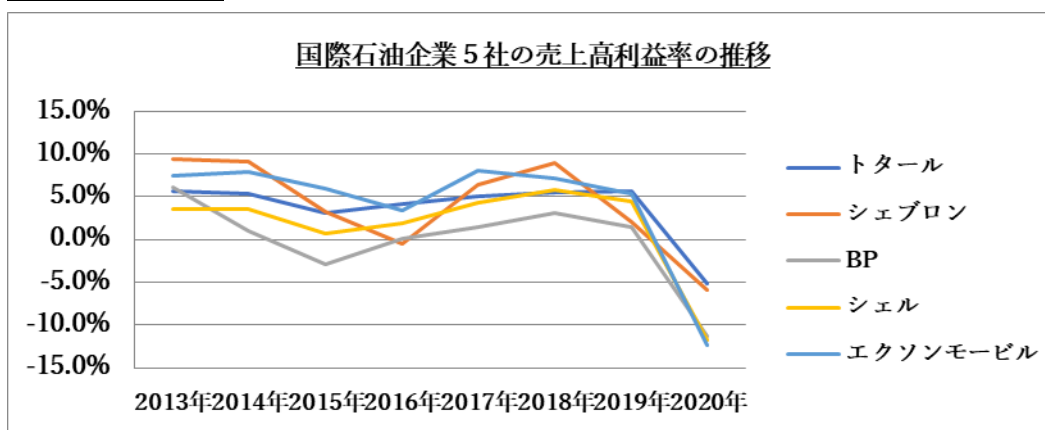
2014年は Chevron を除く4社はほぼ前年並みの利益を確保したが、Chevron は一気に38億ドルまで落ち込んだ。続く2015年には5社の収益は急速に悪化し ExxonMobil の利益は2013年の半分にとどまり、Chevron は▲65億ドルの欠損となった。2016年は各社で明暗が分かれ、ExxonMobil 及び BP は減益、その他3社は増益となった。

2017年、18年とほぼ全社が連続して増益となり、2018年の利益は Shell 及び ExxonMobil が200億ドルを超え、Chevron、Total、BP3社は100億ドル前後の利益を出した。

2019年は減益傾向が明白となったが、5社共に利益を計上している。しかし2020年は業績が急激に悪化し、全社が大幅な欠損となり、特に ExxonMobil、Shell 及び BP3社はそろって200億ドル以上の赤字決算となっている。

(かつては5%以上が普通だった利益率が昨年は欠損率▲10%以上に！)

3. 売上高利益率

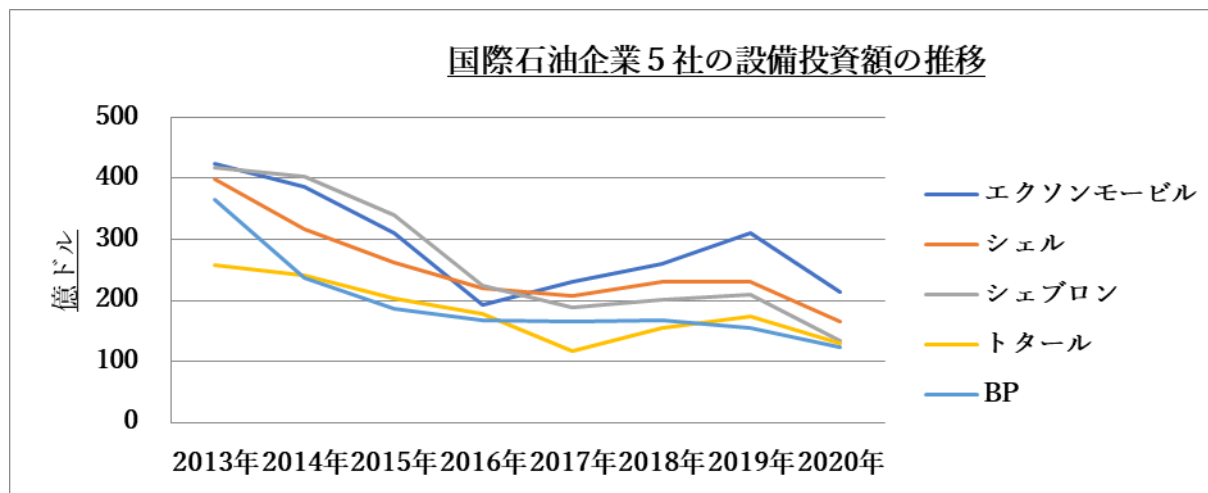


2013年の売上高利益率は、Chevron が9.4%で最も高く、これにつぐのがExxonMobil (7.4%)、BP(6.2%)、Total(5.7%)であり、最も低いShell は3.6%であった。その後、利益率は低迷し、BP、

Chevron はそれぞれ2015年、16年にマイナスに陥っている。

2018年には利益率は一旦改善したものの、19年に頓挫し、2020年には5社全ての利益率が大幅に悪化、ExxonMobilの▲12.4%を筆頭にShell、BPは二桁台の欠損率を示し、Chevron及びTotalも▲5%台の売上高損失率を記録している。

4. 設備投資



2013年の設備投資額はExxonMobilが425億ドルで最も多く、Chevron(419億ドル)、Shell(400億ドル)が400億ドル台が続いている。BPは366億ドル、Totalが最も少ない259億ドルであった。2013年以降2016年までの4年間は各社とも設備投資は減少し続け、2016年の設備投資額はChevronが最も多い224億ドル、Shellは221億ドルであり、その他3社は100億ドル台であった。ExxonMobilは2016年を底として増加に転じたが、その他の4社は2017年も減少し、2013年比では5割前後まで落ち込んだ。

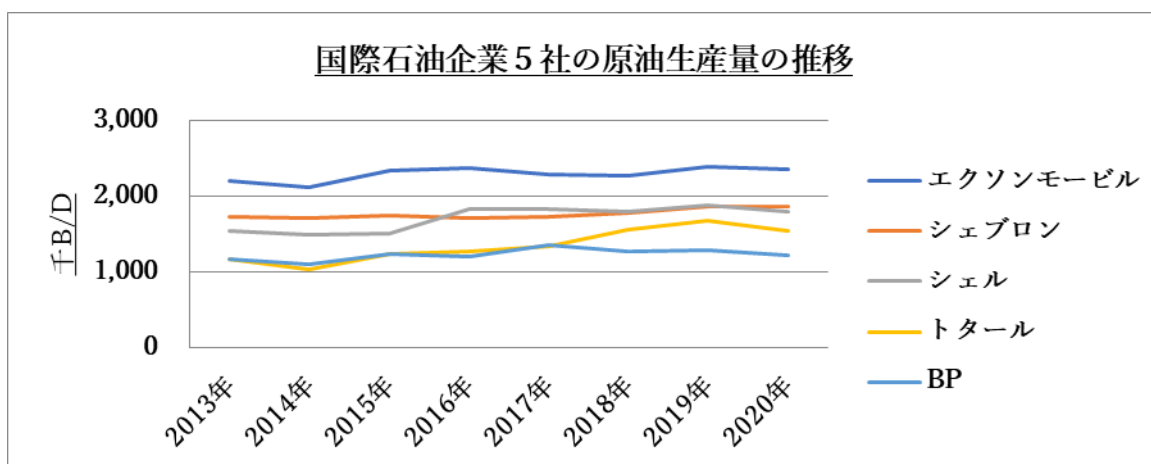
2017年以降、原油価格が上昇し生産量(次章参照)も増加したため、設備投資も活発になり2019年にはExxonMobilの設備投資額が311億ドルと2015年の水準に回復したのをはじめ各社とも増加している。

しかし2020年には一転して各社の設備投資額は急減し、この年の投資額はExxonMobil214億ドル、Shell166億ドル、Chevron135億ドル、Total130億ドル、BP123億ドルであり、2013年と比較するとChevron、BPは3分の1であり、ExxonMobil、Total、Shellも2分の1の低い水準にとどまっている。

5. 石油及び天然ガス生産量

(200万 B/D を超え他社を圧倒する ExxonMobil !)

(1)石油生産量



5

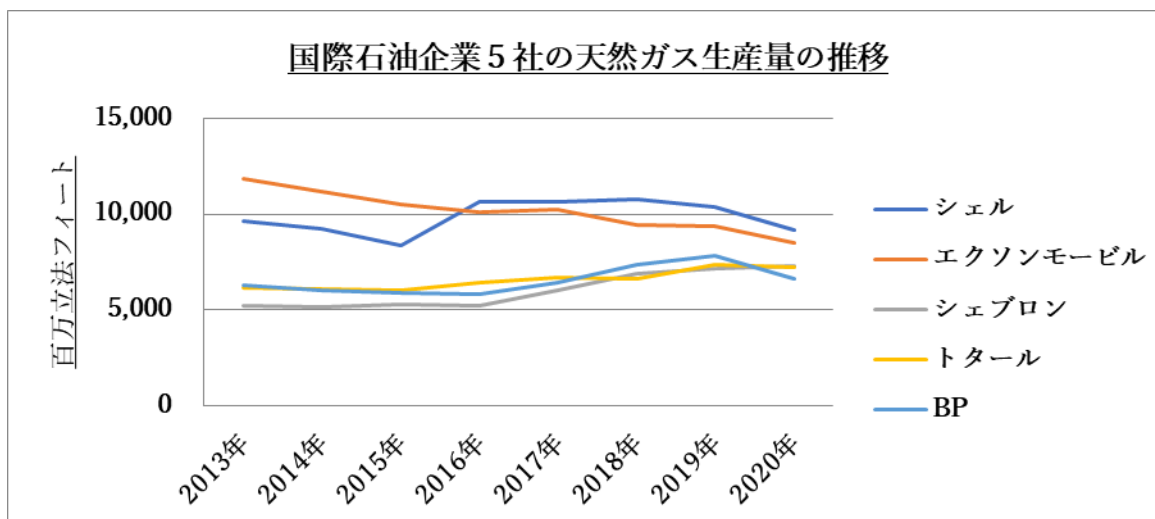
社の2013年から2020年までの石油生産量の推移を見ると、8年間を通じて ExxonMobil は他の4社を大きく引き離している。同社の生産量は2, 202千 B/D(13年) →2, 111千 B/D(14年)→2, 345千 B/D(15年)→2, 365千 B/D(16年) →2, 283千 B/D(17年) →2, 266千 B/D(18年) →2, 386千 B/D(19年)→2, 349千 B/D(20年)と5社の中で唯一2百万 B/D 以上を維持している。

ExxonMobil 以外の2013年の生産量は Chevron (1, 731千 B/D)、Shell (1, 541千 B/D)、BP (1, 176千 B/D)、Total (1, 167千 B/D)の順であった。2013年以降2020年までの原油生産動向を見ると、ExxonMobil が230万 B/D にアップしたほか、各社とも生産レベルが上がっている。特に Shell は2016年に180万 B/D を突破した後、その水準を維持し続けており、Total も1, 167千 B/D(13年) →1, 034千 B/D(14年)→1, 237千 B/D(15年)→1, 271千 B/D(16年) →1, 346千 B/D(17年) →1, 566千 B/D(18年) →1, 672千 B/D(19年)と2014年から2019年までは6年間連続して増加している。

しかし2020年はコロナ禍の影響で石油需要が急減したため各社とも生産量が落ち込んだ。2013年の生産量を100とした場合、2020年の各社生産量は Total が1. 3倍に増加したほか、Shell 117、Chevron 108、ExxonMobil107及び BP105であり、いずれも100を超えている。

(8年前に比べ4割増の Chevron、3割減の ExxonMobil !)

(2)天然ガス生産量

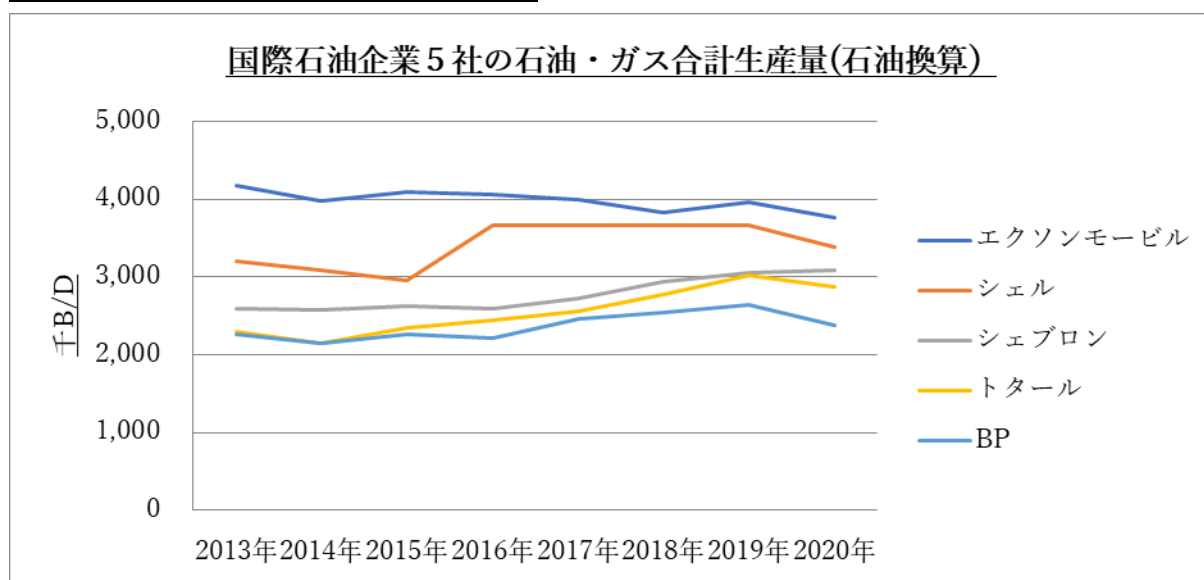


2013年から2020年までの天然ガスの生産量は ExxonMobil が2013年以降連続して減少傾向にあることが目立つ。同社の場合2013年の118億立方フィート/日(以下 cfd)で5社の中で唯一100億 cfd を超えていたが、同年以降は111億 cfd(14年)→105億 cfd(15年)→101億 cfd(16年)→102億 cfd(17年)→94億 cfd(18年)→94億 cfd(19年)→85億 cfd(20年)であり、2016年にはトップの座を Shell に奪われ、また Chevron との格差も2013年の50億 cfd からであった2020年には10億 cfd 強まで縮まっている。Shell は2016年に生産量100億cfdを突破してトップとなり、その後一昨年(2019年)までは100億 cfdを超えている。

2013年を100とした場合2020年の生産量はExxonMobilが72、Shellは95であり2013年を下回っている。その他の3社はChevron140、Total117、BP106と8年前を上回っており、特にChevronの伸びが著しい。

(ExxonMobil が8年連続トップだが2位との格差は縮小！)

(3) 石油・天然ガス合計生産量(石油換算)



石油と天然ガスの合計生産量(石油換算)を見ると、2013年には ExxonMobil がトップの4,175千 B/D であり、2位のShell(3,199千B/D)を100万B/D近く上回っている。これら2社に続くのが Chevron(2,597千 B/D)であり、4位と5位はそれぞれ Total(2,299千 B/D)及び BP(2,256千 B/D)であった。

2014年以降は ExxonMobil の生産量に減少の歯止めがかからず、2020年は3,761千 B/D となり、5社の中で唯一2013年の生産量を下回る水準にとどまっている。一方 Shell は2015年まで横ばいを続けた後、2016年に生産量が3,668千 B/D と大幅に上昇し2020年は3,386千 B/D でありトップの ExxonMobil に近づいている。

2013年を100とした場合の2020年の各社の生産量は Total 125、Chevron 119、Shell 106、BP105、ExxonMobil90である。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行

〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601

Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642

E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

2020年第4四半期(10-12月)及び通年(1-12月)国際石油企業の業績(1)

年		ExxonMobil	Shell	BP	Total	Chevron
売上高(百万ドル)	2020年10-12月	46,540	45,028	44,789	37,943	24,843
	前年同期	67,173	85,066	71,109	49,280	34,574
	増減(%)	-30.7%	-47.1%	-37.0%	-23.0%	-28.1%
	2020年1-12月	181,502	183,196	180,366	140,685	94,471
	前年1-12月	264,938	352,107	278,397	200,316	139,865
	増減(%)	-31.5%	-48.0%	-35.2%	-29.8%	-32.5%
利益(百万ドル) (*)	2020年10-12月	▲ 20,070	▲ 4,014	1,358	891	▲ 665
	前年同期	5,690	965	19	2,600	▲ 6,610
	増減(%)	-452.7%	-516.0%	7047.4%	-65.7%	-89.9%
	2020年1-12月	▲ 22,440	▲ 21,680	▲ 20,305	▲ 7,242	▲ 5,543
	前年1-12月	14,340	15,842	4,026	11,267	2,924
	増減(%)	-256.5%	-236.9%	-604.3%	-164.3%	-289.6%
売上高利益率 (%)	2020年10-12月	-43.1%	-8.9%	3.0%	2.3%	-2.7%
	前年同期	8.5%	1.1%	0.0%	5.3%	-19.1%
	2020年1-12月	-12.4%	-11.8%	-11.3%	-5.1%	-5.9%
	前年1-12月	5.4%	4.5%	1.4%	5.6%	2.1%
上流部門利益 (百万ドル)(*)	2020年10-12月	▲ 18,532	▲ 2,091	697	1,068	501
	前年同期	6,137	▲ 855	2,678	2,031	▲ 6,734
	増減(%)	-402.0%	144.6%	-74.0%	-47.4%	-107.4%
	2020年1-12月	▲ 20,030	▲ 10,785	▲ 5,041	2,363	▲ 2,433
	前年1-12月	14,442	3,855	11,158	7,509	2,576
	増減(%)	-238.7%	-379.8%	-145.2%	-68.5%	-194.4%
下流部門利益 (百万ドル)(*)	2020年10-12月	▲ 1,211	▲ 1,775	126	170	▲ 338
	前年同期	898	1,183	1,438	580	672
	増減(%)	-234.9%	-250.0%	-91.2%	-70.7%	-150.3%
	2020年1-12月	▲ 1,077	▲ 494	3,088	1,039	47
	前年1-12月	2,323	6,139	6,419	3,003	2,481
	増減(%)	-146.4%	-108.0%	-51.9%	-65.4%	-98.1%
設備投資(百万ドル)	2019年10-12月	4,771	5,206	2,922	4,531	3,177
	前年同期	8,460	6,707	3,936	4,211	6,016
	増減(%)	-43.6%	-22.4%	-25.8%	7.6%	-47.2%
	2019年1-12月	21,374	16,585	12,306	12,989	13,499
	前年1-12月	31,148	22,971	15,418	17,449	20,994
	増減(%)	-31.4%	-27.8%	-20.2%	-25.6%	-35.7%

2019年第4四半期(10-12月)及び通年(1-12月)国際石油企業の業績(2)

年		ExxonMobil	Shell	BP	Total	Chevron
営業キャッシュフロー(百万ドル)	2020年10-12月	4,005	6,287	2,269	5,674	2,300
	前年同期	6,352	10,267	7,603	6,599	5,614
	増減(%)	-36.9%	-38.8%	-70.2%	-14.0%	-59.0%
	2020年1-12月	14,668	34,105	12,162	14,803	10,600
	前年1-12月	29,716	42,178	25,770	24,685	27,314
	増減(%)	-50.6%	-19.1%	-52.8%	-40.0%	-61.2%
投資キャッシュフロー(百万ドル)	2020年10-12月	n.a.	▲ 5,406	573	▲ 4,476	▲ 700
	前年同期	n.a.	▲ 4,862	▲ 3,229	▲ 3,925	▲ 2,700
	増減(%)	#VALUE!	11.2%	-117.7%	14.0%	-74.1%
	2020年1-12月	n.a.	▲ 13,277	▲ 7,858	▲ 13,079	▲ 7,000
	前年1-12月	n.a.	▲ 15,779	▲ 16,974	▲ 17,177	▲ 11,500
	増減(%)	#VALUE!	-15.9%	-53.7%	-23.9%	-39.1%
財務キャッシュフロー(百万ドル)	2020年10-12月	n.a.	▲ 5,333	▲ 3,132	5,674	▲ 1,700
	前年同期	n.a.	▲ 3,057	▲ 1,713	▲ 3,607	▲ 9,258
	増減(%)	#VALUE!	74.5%	82.8%	-257.3%	-81.6%
	2020年1-12月	n.a.	▲ 7,224	3,956	1,398	3,700
	前年1-12月	n.a.	n.a.	18,055	22,472	27,352
	増減(%)	#VALUE!	#VALUE!	-78.1%	-93.8%	-86.5%
期末残高(百万ドル)	2020年12月末	n.a.	31,830	31,111	31,268	n.a.
	前年12月末	n.a.	18,055	22,472	27,352	n.a.
	増減(%)	#VALUE!	76.3%	38.4%	14.3%	#VALUE!

2020年第4四半期(10-12月)及び通年(1-12月)国際石油企業の業績(3)

年		ExxonMobil	Shell	BP	Total	Chevron
原油生産量 (1,000B/D)	2020年10-12月	2,325	1,752	1,119	1,483	1,978
	前年同期	2,436	1,934	1,328	1,714	1,893
	増減(%)	-4.6%	-9.4%	-15.7%	-13.5%	4.5%
	2020年1-12月	2,349	1,803	1,229	1,543	1,868
	前年1-12月	2,386	1,876	1,288	1,672	1,865
	増減(%)	-1.6%	-3.9%	-4.6%	-7.7%	0.2%
天然ガス生 産量 (100万 cfd)	2020年10-12月	8,185	9,392	6,011	7,406	7,796
	前年同期	9,495	10,605	7,945	7,563	7,110
	増減(%)	-13.8%	-11.4%	-24.3%	-2.1%	9.6%
	2020年1-12月	8,471	9,181	6,643	7,246	7,290
	前年1-12月	9,394	10,377	7,823	7,364	7,157
	増減(%)	-9.8%	-11.5%	-15.1%	-1.6%	1.9%
原油・ガス 生産量 (石油換算 1,000B/D)	2020年10-12月	3,689	3,371	2,155	2,841	3,277
	前年同期	4,018	3,763	2,698	3,113	3,078
	増減(%)	-8.2%	-10.4%	-20.1%	-8.7%	6.5%
	2020年1-12月	3,761	3,386	2,375	2,871	3,083
	前年1-12月	3,952	3,665	2,637	3,014	3,058
	増減(%)	-4.8%	-7.6%	-9.9%	-4.7%	0.8%

¹ Shell 決算資料より

https://www.shell.com/investors/results-and-reporting/quarterly-results/2020/q4-2020/_jcr_content/par/toptasks_1119141760_237662996.stream/1612430671652/27901ad286f7dac5d3bdb6860bfea5e74c486c1a/q4-2020-quarterly-databook-updated.pdf

² Shell Quarterly Databook より

https://www.shell.com/investors/results-and-reporting/quarterly-results/2020/q4-2020/_jcr_content/par/toptasks_1119141760_237662996.stream/1612430671652/27901ad286f7dac5d3bdb6860bfea5e74c486c1a/q4-2020-quarterly-databook-updated.pdf